

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|--|
| 1 | 施設名 | 仙台市旭ヶ丘児童館 |
| 2 | 指定管理者 | 特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター |
| 3 | 指定期間 | 平成29年4月1日から令和4年3月31日まで |
| 4 | 施設の利用状況 | <p>《利用者数》20,953人（前年度比 103,8 %） 平成30年度 20,185人 平成29年度 21,135人 平成28年度 19,370人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p> |
| 5 | 収支の状況 | <p>《費用》 （ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 34,431千円 （ 31,818千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円） |
| 6 | 利用者の声 | <p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者会を実施。</p> |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | 「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 | 33/33 |
| II 施設の運営管理体制 | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 | 30/30 |
| III 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。 | 23/23 |
| IV サービスの質の向上 | 名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | 児童クラブにおいては、保護者懇談会の「親と子の会」の中で子どもに司会を任せたり、日頃の活動を発表する場を作るなどして子どもの成長を保護者と共有している。また、「子どもボランティア」を行事ごとに募り、行事の企画運営の取り組みを支援し、子どもの自主性や協調性を育てている。学校、市民センター、地域団体、住民等と連携した畑の活動やホテルの鑑賞会等の共催行事を通して、地域の関係機関や諸団体との連携・交流を図り、地域が一体となって子どもの育ちを支える環境づくりに取り組んでいる。 | 18/18 |

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》

令和元年度も、より地域に必要とされる児童館を目指し、地域諸団体等との繋がりを大切に、事業の充実に努めた。

<児童健全育成事業>

「旭ヶ丘児童館子どもボランティア」は、これまで自然体験活動「地球探検隊」やキャンプにおける活躍を主としていたが、小学生ボランティアは、クリスマスコンサートの来場者へのプレゼントの製作に自ら率先して携わり、中学生ボランティアは、中高生対象プログラムの企画に意見を出してくれる等、活動と活躍の場が広がった。

<子育て家庭支援事業>

土曜日実施の「ちびっこファミリーデー」が1つのきっかけとなり、父親が子どもと来館する姿が増えた。またママ向けプログラム「ホッとひとときタイム」はリピーター率も高く、母親同士の情報交換や交流の場ともなっている。”子どもと離れて製作等を楽しむ時間は家ではとれないのでリフレッシュできて嬉しい”等、好評の声を頂いた。

<地域交流推進事業>

地域、児童、保護者からの要望を受け、世代間交流プログラム「囲碁将棋カーニバル」の実施回数を年3回に増やして実施した。プログラム当日の協力以外にも、町内会サロンで児童館行事への参加を呼びかけて下さったり、広報ポスターを率先して地域掲示板に掲示して下さる等の協力も得た。地域の方々の児童館への関心の高さ、児童館が地域に根差していることを例年以上に強く感じる事ができた。

<児童クラブ事業>

登録人数の増加が続いており、児童がより安全かつ快適に過ごせるよう、各部屋や玩具の使い方等、職員間で何度も協議を重ねながら運営を行った。また自己肯定感を高めたいけるように、児童の参画をより意識した取り組みを行った。親と子の会では、児童が司会を担う、出し物をする等、準備段階からともに取り組んだ。その結果、児童の活躍の場が広がり、役割を担った子どもたちは達成感を味わい、自己肯定感を高める事ができた。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

「地域の中で必要とされる児童館」を目指すねらいのもと、児童館の取り組みを地域にアピールし、認知度を高めるための活動に積極的に取り組んでおり、今年度は、地域の高齢者向けに「健脳健骨体操」を3回開催した。多数の参加があり、児童館の紹介と世代間交流プログラムへ参加を呼びかける良い機会となった。世代間交流プログラムの中では、特に「囲碁・将棋」が好評を得ており、地域の方々の要望を受け、今年度は回数を増やし「囲碁将棋カーニバル」と銘打って開催した。その後、プログラムに関わった地域の方が、児童館行事の掲示板への掲載や行事の参加呼びかけに協力していただくなど、地域の応援隊としての役割を担うようになってきている。児童館が自ら積極的に地域と関わり、地域の方が応えてくれる関係づくりができており、成果として表れている点が評価できる。

台原森林公園の自然を活かした市民センターと共催の「ホテル観賞会」は、児童の情操を豊かにすることはもとより、地域の自然を守り情報を発信していくうえでも大きな役割を担っている。

小学生の行事では、月1回様々な場所に探検に行く「地球探検隊」や、「調理活動」など子どもがやってみたい様々な活動にチャレンジする「旭ヶ丘チャレンジ隊」など、意欲的な行事が多く、子どもの自主性や興味関心を広げる内容で創意工夫が見られる。

乳幼児親子を対象とした活動では、発達に応じたプログラム、保護者向けのリフレッシュ企画、青葉区家庭健康課等と連携した育児講座や相談の場などが設けられている。また、就労家庭など平日利用が難しい乳幼児親子には、「ちびっこファミリーデー」として土曜日に行事を開催するなど、保護者のニーズに合った多彩なプログラムを提供しており、より多くの乳幼児親子を支援するための環境づくりに努めている。

S

その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課